

No. /

調査研究費		研修費		広報費		広聴費
要請・陳情活動費		会議費		資料作成費	✓	資料購入費

領 収 書 貼 付

領 収 証 日本共産党久喜市議団 様 No. _____

★¥22,693 ※

但 自治日報 平成30年5月~31年3月分購読料
平成30年5月 / 日 上記正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-55


〒102-0083 東京都千代田区豊町4-5
株式会社 自治日報 社
代表取締役 内川 幸三
TEL 03-3262-6094



添付書類	
備考	

調査研究費	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費

領 収 書 貼 付

再発行	No. 052910		
	領 収 証		
	日本共産党久喜市議団 様		
	金額 ¥29,700-		
但し購読料 30/5月~31/3月として 平成 30年 5月 14日 (銀行振込) 上記の金額正に領収致しました			
印 収 紙 入	株式会社 日本教育新聞社 東京都港区虎ノ門 〒105-8436 電話 03(5510)7828	扱 者 印	

※上記発行先・金額の訂正は無効です。

添付書類	
備考	

調査研究費	研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

領 収 書 貼 付

領 収 証 日本共産党久喜市議団 様 No. _____

金額 4/3000.-

内 訳 _____ 但 市議団ニュース (No 143) 印刷代として 収入印紙
現金 _____ 6000枚
小切手 / 2018年 5月 25日 上記正に領収いたしました
手形 /

消費税額等(%) _____

日本共産党埼玉東部北地区委員会
〒346-0812 埼玉県久喜市北野333-1
TEL 0480-22-9296

コクヨ ウケ-92

添付書類	市議団ニュース NO. 143
備考	

市議団ニュース

連絡先 2018年5月27日号
 杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058
 石田利春 52-7260 平間益美 23-9519
 【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】
 「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

正副議長選挙の結果

議長 上條哲弘(あきひろ)
 (投票結果)

上條哲弘 19票
 杉野 修 4票
 猪股和雄 4票

副議長 園部茂雄

(投票結果)

園部茂雄 19票
 渡辺昌代 4票
 川辺美信 4票



決意を新たにする4名の議員団

4月22日執行で市議会議員選挙が行われ、5月15日には選挙後、初議会が開催されました。臨時会では、正副議長を始め、各委員会、また一部事務組合の議員の選挙や、専決議案の審議などが行われました。党議員団は、今後、選挙で発表した公約や、市民から寄せられた要求の実現に向けて全力を尽くす決意です。

市議団、公約・市民要求の実現に全力を尽くします

議案第42号「専決処分の承認」

2018年4月より国民健康保険税条例の改正で軽減対象者が拡大に

5月15日に開かれた臨時議会で、専決処分の承認を求める議案として、国民健康保険税条例の一部の改正議案が可決しました。国保には低所得者への法定軽減制度として、均等割額に7割、5割、2割を軽減する制度がありますが、今回の地方税法の改正に伴う、国保税の一部改正では、5割、2割を軽減される対象者が拡大されます。

平成29年度の国保税5割軽減人数は5740人でしたが、平成30年度は124人増えて5864人が該当になります。2割軽減人数は5890人から73人増えて5963人になります。影響額は315万円であることもわかりました。

国保税は高く払いきれない実態だけに少しでも軽減対象が増えることは嬉しい限りです。国においては、更に7割軽減や子どもの均等割の軽減が議論されることを望むところです。

日本共産党市議団は、国保税の減額と軽減の拡大にこれからも取り組んでいきます。

各委員会の新役職について (敬称略)

- ◆総務財政市民常任委員会 (党議員団 渡辺昌代)
 委員長・春山千明 副委員長・成田ルミ子
 - ◆福祉健康常任委員会 (同 杉野 修)
 委員長・平沢健一郎 副委員長・斉藤広子
 - ◆建設上下水道委員会 (同 石田利春)
 委員長・丹野郁夫 副委員長・盛永圭子
 - ◆教育環境常任委員会 (同 平間益美)
 委員長・新井 兼 副委員長・貴志信智
 - ◆議会運営委員会 (同 渡辺昌代)
 委員長・井上忠昭 副委員長・斉藤広子
- 【党議員団の所属する一部事務組合等の公職名】
- ◆久喜宮代衛生組合議会 渡辺昌代
 - ◆広域利根斎場組合議会 平間益美
 - ◆利根川栗橋流域水防事務組合議会 石田利春
 - ◇久喜市社会福祉協議会評議員 杉野 修
 - ◇図書委員会委員 石田利春
 - ◇議員倶楽部役員 渡辺昌代
 - ◇広報委員会委員 (議会だより編集) 平間益美

議員定数変更に伴う定数減

議員定数が30名から27名になったことに伴い、代表者会議の定数は8名から7名に、議会運営委員会の定数は9名から8名になりました。代表者会議は全員一致で決議され、議会運営委員会は多数決で決議されます。

会派	人数	氏名 (◎代表 ○副代表)
日本共産党久喜市議団	4	◎杉野 ○渡辺 石田 平間
新政久喜	14	◎柿沼 ○春山 新井 井上 上條 川内 貴志 鈴木 園部 並木 成田 平沢 宮崎 盛永
公明党	5	◎岡崎 ○斉藤 大橋 丹野 長谷川
市民の政治を進める会	3	◎猪股 ○川辺 田中
無会派	1	田村

新しい会派構成が決まりました。「新政久喜」は14名で過半数を占めることになりました。

学校給食センター建設方針見直しを



梅田市長は、就任あいさつで「子どもたちの未来が輝く久喜市を創ること」を掲げており期待したいと思えます。

昨年の11月議会においては子どもたちを第一に考えた学校給食を求める請願が、1万1000筆の署名が添えられ提出されています。

5月25日、日本共産党久喜市議団と市民の政治を進める会の議員7名は、新市長に就任された梅田新市長と直接懇談し、新市政の直面する課題である学校給食センター建設見直しについて緊急提言を出しました。

日本共産党久喜市議団と市民の政治を進める会が共同で

久喜市長 梅田修一様

2018年5月25日

新学校給食センター建設方針の見直しに係る緊急提言

田中前市長は昨年、突然、東京理科大跡地に学校給食センターを建設する方針を打ち出し、市内小中学校34校すべての学校給食を単一の巨大センターで調理する計画を強引に推し進めました。

この間、平成29年度事業として新学校給食センターの設計委託、30年度当初予算には9億3599万2千円の建設工事費、30、31年度の2年間で35億6968万円の給食センター整備事業に係る債務負担行為を設定するなど、学校給食センターの既成事実化を進めてきました。

この巨大学校給食センターの建設計画そのものが、子どもたちを第1に考えた学校給食とはほど遠いものです。

その意味で、梅田市長が市長選挙を通じて一貫して主張してこられた、「菖蒲給食センターは開設されてからまだ10年あまりですし、栗橋では根強い自校式給食を継続する要望があります。経済効率だけを追求した給食センターの新設は立ち止まるべき」は、市民の意思を反映した、まさに正論と言うべきです。

一方で、特に鷲宮給食センターの老朽化は著しく、安心、安全かつ安定的な学校給食の提供を継続していくために、施設の更新等、早急な対応が求められているのも事実です。

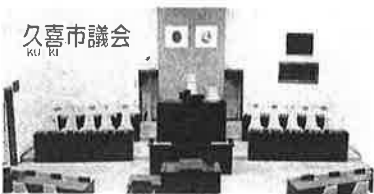
そこで、当面する久喜市の学校給食政策の推進について、以下の緊急提言を行います。梅田市長のリーダーシップで方針転換を図るよう、求めます。

記

1. 田中前市長が決定した新学校給食センターの建設方針の見直しを公式に宣言し、新センターの設計および建設計画を凍結すること。
2. 鷲宮地区の小中学校8校、栗橋地区の中学校2校および栗橋南小学校に、2～4年計画で順次、自校調理場を建設すること。その際、近接校や近隣の小規模校の給食を共同で調理する親子方式の活用も視野に入れること。その後、栗橋小学校および栗橋西小学校の自校調理場の改修計画を策定すること。
3. 久喜地区の全農食品学校給食センターに全面委託している学校給食のあり方、自校調理方式への転換、近隣校を組み合わせる親子方式の活用について、改めて学校給食審議会に諮問して、一から真摯に検討を行い、数年以内に結論を得ること。
4. 菖蒲地区の学校給食のあり方、菖蒲学校給食センターの維持管理と更新の計画については、今後、10年以内に結論を得るよう、検討を進めること。

6月8日には新市長、初めての所信表明演説があり20日には代表質問が予定されています。

6月議会日程 是非傍聴にいらして下さい



5月25日(金)	代表者会議
6月1日(金)	議会運営委員会
6月8日(金)	本会議・議案の上程等
6月20日(水)	代表質問
6月21日(木)	一般質問
6月22日(金)	一般質問
6月25日(月)	一般質問

6月26日(火)	一般質問
6月28日(木)	本会議・議案質疑
6月29日(金)	総務財政市民常任委員会
7月2日(月)	福祉健康常任委員会
7月3日(火)	建設上下水道常任委員会
7月4日(水)	教育環境常任委員会
7月10日(火)	本会議・討論・採決

調査研究費	研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

領 収 書 貼 付

領 収 証

日本共産党久喜市議団 様

30年6月14日

¥ 18,200.-

但し市議団ニュース No.144 2018年6月17日号
上記の金額正に領収いたしました 400枚印刷

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・伝票
カレンダー その他各種印刷

アイザワ印刷

代表 會 澤 誠

〒349-1116 埼玉県久喜市島川97番
TEL 0480-52-5666
FAX 0480-55-1216

収 入
印 紙

扱者印



添付書類

市議団ニュース No 144

備考

市議団ニュース

日本共産党久喜市議団としての

代表質問（項目と要旨） 6月20日（3番目）

- 1 国政の動向と市民の暮らしについて
市民の暮らしは厳しさが増し、支えていくことが求められているが。
- 2 誰もが安心して暮らせ、希望が持てる社会への転換、社会保障の充実を
久喜市の公共料金、国保税、介護保険料、水道料金は県内でも高い位置にあり引き下げの検討を
- 3 障害者支援事業の推進は 安心の街づくりそのもの
障がい者施設の実態調査、手話言語条例の具体化をどうすすめるか。
- 4 公共交通の見直しは、地域間格差の是正を視野に入れてすすめるべき
久喜市全体の利便性向上をめざし、循環バスを全地域に運行を
- 5 いのちと健康をまもり、安心してくらす久喜市政の推進を求めて
健康寿命を延ばすには、病気の早期発見、早期治療が求められる。済生会栗橋病院の急性期部門の存続を。

- 6 教育環境の整備・子育て支援の拡充
大規模給食センターは凍結し、子どもたちのことを第一に考えた自校方式による学校給食を。給食費の無償化や医療費の無料化を拡大すべき。
- 7 地域経済の活性化 地域循環型経済の推進が求められている
小規模事業者への発注増を、住宅リフォーム助成制度の創設、農業の活性化に向けた施策は。
- 8 久喜市の住環境整備と、安心安全の街づくりをどう進めるか
冠水解消に向け、冠水対策の計画をつくり市民に公表すべき
- 9 久喜市に住みたい久喜市の魅力発信
家賃補助制度の創設、市内のトイレ設置拡充、栗橋関所復元で活性化を。
- 10 「人間尊重・平和都市」宣言を掲げている 平和な久喜市をわががって
市長の平和に対する思いを聞く。

石田としはる議員



4月22日の改選から初の定例議会が8日に始まりました。議会初日、新市長の所信表明には多くの市民が傍聴に訪れ、期待の高さを表していました。

日本共産党議員団では、梅田新市長に対し、石田議員が会派を代表して市長の施政方針をたずねます。また、各議員は、選挙中に市民に示した公約を一般質問で新市政において実現を迫ります。

6月議会
代表質問

梅田新市長に市政の転換を求める

全員協議会開催 「広報くき」の廃棄問題など報告が

危ぶまれる中学校部活動 指導員配置事業

部活動指導員は専門的な知識・技能を有し、顧問として単独で大会等に引率できるもので、担当教員の支援や、部活動の質的向上を図ることなどを目的として位置づけられたものです。予算は国・県・市がそれぞれ1/3を支出するものです。久喜市は8人を配置する予定で予算を4,460,800円確定していました。しかし、県がモデル事業3市以外の予算計上を見送ったことから国・県の補助金2,973,000円が見込めなくなり、事業が実施できない状況です。

今後の対応として市教育委員会は、平成30年度については9月補正予算において財源の組み換えを行い、(財源を確保し)10月から3月までの6ヶ月間、市単独で行う予定です。

しかし、平成31年度については見通しが立っていません。



「広報くき」5月1日号の廃棄処分について

給食センターの特集を報じた広報5月1日号を、廃棄処分にしたとの新聞報道がありました。理由は、給食センター建設事業の再検討を、公約として明言した梅田氏が新市長となり、「この内容では配布はできない」と判断したためです。

6月1日には、全員協議会が開かれ、処分された広報の金額は144万円分で、職員残業代33万円、特別版費用15万円が追加で支出した、との説明がありました。



2018年5月1日号 (no.195)は、4ページの簡易版として発行されました。

問 廃棄は、止むを得ないとしても、選挙後に変更があり得る記事は掲載を控える、など工夫ができたのでは。

議員団から確認の質問

問 4年後、同様のことが想定される。再発防止策の考えは。

答 編集内容も吟味し2度とこのようにならないよう取り組む。

問 新年度の取組み内容を基本に編集に取り組み、考えが及ばなかった問 問い合わせた市民には「市のミスで」としている。責任のない市民の税金で補てんするのは問題では。

答 「止むを得なかったもの」との判断をしている。

渡辺まさよ

久喜市所久喜 705-3



6月25日(月)の4番目(午後)

1 さくら保育園の跡地対策を

さくら保育園跡地が西公民館の駐車場になる。隣接する道路が狭いことから安全対策を。さくらの木も残してほしいがいかがか。

2 物流センター建設、住民生活の安全優先を

理科大跡地に建設中の物流センターの営業が間近であるが、企業との協定書を結ぶべきである。どうなっているか。これまでも指摘してきた、交通量の増加に伴う安全対策をしっかりとすべきである。いかがか。

3 学童保育の改善を進めよ

学童保育の児童増が著しい。改善計画を立て、対応を急ぐべきだがいかがか。

4 年金支給が誤って減額されている 市民への影響は

久喜市民の被害状況はどうか。対応はされたか伺う。

5 国民健康保険税の引き下げを求める

子どもの均等割は軽減をすべきである。いかがか。

6 乳がん検診事業の充実を求める

乳ガン検診は2年に一度から毎年に拡充し、エコー検査も加え、早期発見につなげるべき。命を救う政策をすべきではないか。

石田としはる 栗橋東5-7-2



6月22日(金)の2番目(午前)

1 南栗橋 液状化対策工事の影響

・地下水位を下げていく工事、水抜き状況と影響はどうか。
・污水管渠改良工事を進めているが液状化対策工事との関連は。

2 済生会栗橋病院の一部機能移転、急性期部門の継続に向け、市の積極的対応を

・急性期部門を残し、緊急時の対応が可能な病院としての存続を求めていくべき、市の対応を聞きます。
・国の助成制度もある、済生会病院への運営補助金を助成すべきです。信頼関係の醸成にもなると、市に求めます。

3 公共交通全体の見直しは地域間の格差をなくす方向で

・栗橋地区は循環バスが運行されず「置いてきぼり」との声さえ聞かれます。久喜市全体を見据えた公共交通を求めます。

4 栗橋地区で実施している自校方式による給食の継続を

・市民の要望、子どもたちの強い願いを受けとめ、運営継続を求めます。

5 「埼玉県ゆかりの偉人」に久喜市から推挙を

・下総皖一氏は、作曲家、音楽教育家として 高橋郁氏は、作詞家として県の内外で活躍してきた方、是非推挙すべきです。

6 地域包括支援センターの名称を「高齢者相談センター」に

・高齢者の皆さんが気軽に相談できる場所として、わかりやすい名称にすべきとの思いから提案します。

改選後の市議会 6月議会 公約実現へ全力!

杉野おさむ 桜田3-7-504



6月22日(金)の5番目(午後)

1 鷲宮運動広場に公衆トイレを

年間1万人近くの利用者がある施設に、トイレもなく、多くの市民から設置要望がある。早期の設置を求める。

2 大雨冠水被害への抜本的対策を求める

① 西大輪JR線西側一帯 ② 小林ハイツすずかけ地区 ③ URわし宮団地一帯 について、被害防止のための具体策の実施と、中長期の改善計画策定に向けて、幸手市や杉戸町などとの協議を進めるよう求める。

3 介護保険制度での負担軽減と改善を求める

① 国が本来負担すべき5%の交付金が1.13%しかない。その分は市が負担して保険料の引き下げに充てるべき。
② 65歳になると障がい者は介護保険制度が自動適用になる。受けていた障害サービスが受けられなくなるのは問題だ。引き続き「障がい者が必要とするサービス提供」を

4 生活保護基準の引き下げは行わないよう求める

生活保護制度は、見直しのたびに削減されている。この秋10月からの引き下げは、最低生活をさらに切り詰めることになり、大問題である。保護を受けていない困窮世帯の消費に合わせるとの名目で生保を削減することは、完全に間違っている。削られる世帯には大きな額だが、市にとってはごくごく少額(数十万円)である。市が補てんを。

平間ますみ 久喜本町8-4-1



6月21日(木)の3番目(午前)

1 給食費の無料化について

子育て世代の負担軽減、応援として、給食費の無料化を求めてきました。市長選挙で、梅田市長は保育料・給食費の負担軽減を公約に掲げました。具体的内容・工程について質問します。

2 子ども医療費18歳までの無料化について

先の市長選挙で田中前市長は「議会の承認が得られれば、すぐにでも実施ができるように準備はできている」との発言を繰り返してきました。子育て世代の強い要望です。梅田市長に制度の実施を求めています。

3 公共施設のトイレ洋式化について

これまで、計画的な洋式化に向けた取り組みを要望してきました。梅田市長の公約に、学校のトイレを清潔で使いやすいものにし、子どもたちの健康維持の環境整備を進めるとあります。他の公共施設の洋式化も含め、具体的内容を質問します。

4 住宅リフォーム助成制度について

地域に及ぼす経済効果は大きく、国もこの制度を推進しており、毎年要望してきました。早期の創設を求めて質問します。

5 久喜北陽高校西側の冠水対策について

久喜北陽西側の冠水問題は、早急に解決する必要がありますが改善されていません。抜本的解決に向けて、具体的計画を聞きます。

調査研究費	研修費	✓ 広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

領 収 書 貼 付

領 収 証

日本共産党 久喜市議団様

30 年 6 月 23 日

¥ 7,200.-

但し市議団ニュース No.144 2018年6月17日号
上記の金額正に領収いたしました 2000枚迄17日

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・伝票
カレンダー その他各種印刷

Ap アイザワ印刷

代表 會 澤

〒349-1116 埼玉県久喜市島川97番地
TEL 0480-52-5663
FAX 0480-55-1216

収 入
印 紙

扱 者 印
[Seal]

添付書類

市議団ニュース NO.144

備考

市議団ニュース

連絡先

2018年6月17日号

杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058

石田利春 52-7260 平間益美 23-9519

【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】

「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

日本共産党久喜市議団としての

代表質問（項目と要旨） 6月20日（3番目）

- 1 国政の動向と市民の暮らしについて
市民の暮らしは厳しさが増し、支えていくことが求められているが。
- 2 誰もが安心して暮らせ、希望が持てる社会への転換、社会保障の充実を久喜市の公共料金、国保税、介護保険料、水道料金は県内でも高い位置にあり引き下げの検討を
- 3 障害者支援事業の推進は 安心の街づくりそのもの
障がい者施設の実態調査、手話言語条例の具体化をどうすすめるか。
- 4 公共交通の見直しは、地域間格差の是正を視野に入れてすすめるべき
久喜市全体の利便性向上をめざし、循環バスを全地域に運行を
- 5 いのちと健康をまもり、安心してくらせる久喜市政の推進を求めて
健康寿命を延ばすには、病気の早期発見、早期治療が求められる。済生会栗橋病院の急性期部門の存続を。

- 6 教育環境の整備・子育て支援の拡充
大規模給食センターは凍結し、子どもたちのことを第一に考えた自校方式による学校給食を。給食費の無償化や医療費の無料化を拡大すべき。
- 7 地域経済の活性化 地域循環型経済の推進が求められている
小規模事業者への発注増を、住宅リフォーム助成制度の創設、農業の活性化に向けた施策は。
- 8 久喜市の住環境整備と、安心安全の街づくりをどう進めるか
冠水解消に向け、冠水対策の計画をつくり市民に公表すべき
- 9 久喜市に住みたい久喜市の魅力発信
家賃補助制度の創設、市内のトイレ設置拡充、栗橋関所復元で活性化を。
- 10 「人間尊重・平和都市」宣言を掲げている 平和な久喜市をねがって
市長の平和に対する思いを聞く。

石田としはる議員



4月22日の改選から初の定例議会が8日に始まりました。議会初日、新市長の所信表明には多くの市民が傍聴に訪れ、期待の高さを表していました。

日本共産党議員団では、梅田新市長に對し、石田議員が会派を代表して市長の施政方針をたじます。また、各議員は、選挙中に市民に示した公約を一般質問で新市政において実現を迫ります。

6月議会
代表質問

梅田新市長に市政の転換を求めめる

全員協議会開催 「広報くき」の廃棄問題など報告が

危ぶまれる中学校部活動指導員配置事業

部活動指導員は専門的な知識・技能を有し、顧問として単独で大会等に引率できるもので、担当教員の支援や、部活動の質的向上を図ることなどを目的として位置づけられたものです。予算は国・県・市がそれぞれ1/3を支出するものです。久喜市は8人を配置する予定で予算を4,460,800円確定していました。しかし、県がモデル事業3市以外の予算計上を見送ったことから国・県の補助金2,973,000円が見込めなくなり、事業が実施できない状況です。

今後の対応として市教育委員会は、平成30年度については9月補正予算において財源の組み換えを行い、(財源を確保し)10月から3月までの6ヶ月間、市単独で行う予定です。

しかし、平成31年度については見通しが立っていません。



「広報くき」5月1日号の廃棄処分について

給食センターの特集を報じた広報5月1日号を、廃棄処分にしたとの新聞報道がありました。理由は、給食センター建設事業の再検討を、公約として明言した梅田氏が新市長となり、「この内容では配布はできない」と判断したためです。

6月1日には、全員協議会が開かれ、処分された広報の金額は144万円分、職員残業代33万円、特別版費用15万円が追加で支出した、との説明がありました。

議員団から確認の質問

廃棄は、止むを得ないとしても、選挙後に変更があり得る記事は掲載を控える、など工夫ができたのでは。



2018年5月1日号(no.195)は、4ページの簡易版として発行されました。

問 新年度の取組み内容を基本に編集に取り組み、考えが及ばなかった問い合わせた市民には、「市のミス」としている。責任のない市民の税金で補てんするのは問題では。

答 「止むを得なかったもの」との判断をしている。

問 4年後、同様のことが想定される。再発防止策の考えは。

答 編集内容も吟味し2度とこのようにならないよう取り組む。

渡辺まさよ

久喜市所久喜 705-3



6月25日(月)の4番目(午後)

1 さくら保育園の跡地対策を

さくら保育園跡地が西公民館の駐車場になる。隣接する道路が狭いことから安全対策を。さくらの木も残してほしいがいかがか。

2 物流センター建設、住民生活の安全優先を

理科大跡地に建設中の物流センターの営業が間近であるが、企業との協定書を結ぶべきである。どうなっているか。これまでも指摘してきた、交通量の増加に伴う安全対策をしっかりとすべきである。いかがか。

3 学童保育の改善を進めよ

学童保育の児童増が著しい。改善計画を立て、対応を急ぐべきだがいかがか。

4 年金支給が誤って減額されている 市民への影響は久喜市民の被害状況はどうか。対応はされたか伺う。

5 国民健康保険税の引き下げを求める

子どもの均等割は軽減をすべきである。いかがか。

6 乳がん検診事業の充実を求める

乳ガン検診は2年に一度から毎年にも拡充し、エコー検査も加え、早期発見につなげるべき。命を救う政策をすべきではないか。

石田としはる 栗橋東5-7-2



6月22日(金)の2番目(午前)

1 南栗橋 液状化対策工事の影響

・地下水位を下げていく工事、水抜き状況と影響はどうか。
・汚水管渠改良工事を進めているが液状化対策工事との関連は。

2 済生会栗橋病院の一部機能移転、急性期部門の継続に向け、市の積極的対応を

・急性期部門を残し、緊急時の対応が可能な病院としての存続を求めていくべき、市の対応を聞きます。
・国の助成制度もある、済生会病院への運営補助金を助成すべきです。信頼関係の醸成にもなると、市に求めます。

3 公共交通全体の見直しは地域間の格差をなくす方向で

・栗橋地区は循環バスが運行されず「置いてきぼり」との声さえ聞かれます。久喜市全体を見据えた公共交通を求めます。

4 栗橋地区で実施している自校方式による給食の継続を

・市民の要望、子どもたちの強い願いを受けとめ、運営継続を求めます。

5 「埼玉県ゆかりの偉人」に久喜市から推挙を

・下總皖一氏は、作曲家、音楽教育家として 高橋郁氏は、作曲家として県の内外で活躍してきた方、是非推挙すべきです。

6 地域包括支援センターの名称を「高齢者相談センター」に

・高齢者の皆さんが気軽に相談できる場所として、わかりやすい名称にすべきとの思いから提案します。

改選後の市議会 6月議会 公約実現へ全力!

杉野おさむ 桜田3-7-504



6月22日(金)の5番目(午後)

1 鷲宮運動広場に公衆トイレを

年間1万人近くの利用者がある施設に、トイレもなく、多くの市民から設置要望がある。早期の設置を求める。

2 大雨冠水被害への抜本的対策を求める

① 西大輪JＲ線西側一帯 ② 小林ハイツすずかけ地区
③ URわし宮団地一帯 について、被害防止のための具体策の実施と、中長期の改善計画策定に向けて、幸手市や杉戸町などとの協議を進めるよう求める。

3 介護保険制度での負担軽減と改善を求める

① 国が本来負担すべき5%の交付金が1.13%しかない。その分は市が負担して保険料の引き下げに充てるべき。
② 65歳になると障がい者は介護保険制度が自動適用になる。受けていた障害サービスが受けられなくなるのは問題だ。引き続き「障がい者が必要とするサービス提供」を

4 生活保護基準の引き下げは行わないよう求める

生活保護制度は、見直しのたびに削減されている。この秋10月からの引き下げは、最低生活をさらに切り詰めることになり、大問題である。保護を受けていない困窮世帯の消費に合わせるとの名目で生保を削減することは、完全に間違っている。削られる世帯には大きな額だが、市にとってはごくごく少額(数十万円)である。市が補てんを。

平間ますみ 久喜本町8-4-1



6月21日(木)の3番目(午前)

1 給食費の無料化について

子育て世代の負担軽減、応援として、給食費の無料化を求めてきました。市長選挙で、梅田市長は保育料・給食費の負担軽減を公約に掲げました。具体的内容・工程について質問します。

2 子ども医療費18歳までの無料化について

先の市長選挙で田中前市長は「議会の承認が得られれば、すぐにでも実施ができるように準備はできている」との発言を繰り返してきました。子育て世代の強い要望です。梅田市長に制度の実施を求めていきます。

3 公共施設のトイレ洋式化について

これまで、計画的な洋式化に向けた取り組みを要望してきました。梅田市長の公約に、学校のトイレを清潔で使いやすいものにし、子どもたちの健康維持の環境整備を進めるとあります。他の公共施設の洋式化も含め、具体的内容を質問します。

4 住宅リフォーム助成制度について

地域に及ぼす経済効果は大きく、国もこの制度を推進しており、毎年要望してきました。早期の創設を求めて質問します。

5 久喜北陽高校西側の冠水対策について


久喜北陽西側の冠水問題は、早急に解決する必要がありますが改善されていません。抜本的解決に向けて、具体的計画を聞きます。

✓ 調査研究費	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

領 収 書

平成 30 年度

久喜市

納付書兼領収書					
納 入 者	埼玉県久喜市下早見85-3				
	日本共産党久喜市議団 様				
会計	01 一般会計				
款 19	項 05	目 03	節 04	細節 01	細々節 01
金額	22,464 円				
内 容	タブレット通信費議員負担金 (5月分から6月分)) 日本共産党久喜市議団				
担 当 課	140100 議会総務課				
納入期限	平成 30 年 6 月 29 日				
納入場所	久喜市指定金融機関・収納代理金融機関 久喜市役所・総合支所				
上記の金額を納入します。 平成 年 月 日					
上記のとおり領収しました。					領収日付印
					 30-6-18 ¥22464 N17 (納入者保管)

添付書類	平成30年度 タブレット通信費支払い額 (5月から9月分)
備考	

平成30年6月6日

日本共産党久喜市議団
代表 杉 野 修 様

久喜市議会議長 上 條 哲 弘



平成30年度タブレット通信費支払い額（5月から9月分）について

標記の件について、下記のとおりお知らせいたします。

記

支払総額 56,160円（平成30年5月から9月分 4人）

【積算根拠 5,616円×5ヶ月×1/2×4人】

期別支払額

通信費（平成30年5月から平成30年6月分 4人）

支払い額 22,464円

支払期限 平成30年6月29日

通信費（平成30年7月から平成30年9月分 4人）

支払い額 33,696円

支払期限 平成30年9月28日

※期別納付書は後日、会計担当者にお渡しいたします。

※10月以降については、契約の更新に伴い通信費の変更が予想されるため、確定次第、改めて通知させていただきます。